

森田校長の補教指導案（超略案）NO17

- 1 単元名 校庭のいろいろな植物で遊ぼう！ 冬の巻（ミカン食べ、サザンカの密なめ等）
- 2 ねらい いろいろな草花遊びを通して、植物のつくりや特徴について気付く。
- 3 展開

	学習活動	○留意点 ◎評価など
始	1 冬になっても楽しめる植物は何か考える。	○校庭の中に何かないか「ぶらモンタ」をする。
中	2 食べられる植物が校庭にあるので皆で食べる。 3 ミカンの汁でマジックができることを知る。 4 みんなで協力してミカン汁を集める。 5 紙に筆で絵や文を書いてから、紙を乾かす。 6 あぶり出しで遊ぶ。 7 サザンカの花を観察し、花びらの奥に指を挿入。 8 ツバキやその他、花の咲いているもので試す。 9 花と他の生き物の関係について考える。	○全校児童が食べられるように1個を3人くらいで分けて食べる。 ○ミカンをしぼりあぶり出し遊びを行う。 ◎進んで楽しく作業を行っているか。 ○細い筆を用意しておく。 ○火を使うので、安全に十分に配慮する。 ○体育館西のサザンカで事前に蜜があるかどうかを試してみる。 ○鳥などが蜜を吸いに来る事を伝える。
終	10 学習の振り返りをする。	◎冬でも戸外で自然観察を楽しめたか。

- 4 その他・準備するものなど

プール横のミカン、校庭北のミカン、体育館西のサザンカ、筆、紙コップ、アルコールランプ

森田校長の補教指導案（超略案）NO18

- 1 単元名 校庭のいろいろな樹木の冬芽を観察しよう！
- 2 ねらい 冬芽の作りについて興味・関心を持ち、植物のつくりの工夫について知る。
- 3 展開

	学習活動	○留意点 ◎評価など
始	1 葉を落とし冬芽を付けている植物を提示し、この後どうなるか予想させ意見を述べる。	○冬芽がよくわかるような植物を提示。 ○コブシ、トチノキ、ホオノキなど、特徴的な冬芽を用意しておく。
中	2 冬芽を付けている状態は、植物は死んでいるのか、眠っているのか、生きているのかを考える。 3 枝の先についているものを冬芽ということを知り、その形状についての多様性に気付く。 4 冬芽の形の理由についてグループで話し合い。 5 冬芽不思議発表会を行う。 6 冬芽を解剖して気付いて事を冬芽カードにかく。 7 冬芽と寒さとの関係について気付く。	○普段見る事のない、気付くことのない冬芽に着目させ、植物の冬越しの様子に興味関心をもたせる。 ◎冬芽の形の不思議さを考えているか。 ○様々な冬芽を配布し、自分で手で触ったり身近に見て観察できるようにする。 ◎冬という厳しん環境との関連づけて考えさせる。
終	8 学習の振り返りをする。	◎学習を楽しむことができたか。

- 4 その他・準備するものなど

様々な冬芽（コブシ、ホオノキ、トチノキ、シデ類など芽鱗明瞭な種）、カッターナイフ、冬芽カード、